

2024年12月23日

日清製粉ウェルナ 農林水産省が実施する 加工食品のカーボンフットプリント算定実証に参画 ～家庭用小麦粉「日清 フラワー® チャック付 1kg」で実証～

日清製粉グループの株式会社日清製粉ウェルナ（取締役社長：岩橋 恭彦）は、農林水産省が実施する加工食品のカーボンフットプリント（以下、CFP）^(※)の算定実証に本年12月より参画を開始しました。

^(※) 製品・サービスのライフサイクル全体を通じた温室効果ガス排出量

■農林水産省の加工食品のCFP算定実証について

農林水産省では、「みどりの食料システム戦略」の実現等に向けて、フードサプライチェーン全体での脱炭素化の実践と、その「見える化」を進めるための食品産業の取組みについて議論しています。その中で、2023年度には、加工食品の温室効果ガス排出削減に関する取組みが消費者の選択や行動変容に繋がるように、食品メーカー等とともに、加工食品共通のCFP算定ガイド案を策定しました。さらに、実際に算定した場合の課題等を検証するための実証を進めています。

すでに牛乳や食用油での実証は進んでおりますが、続いて、本年度も小麦粉など5品目を対象として行うことが決まり、このたび当社も家庭用小麦粉「日清 フラワー® チャック付 1kg」を対象に参画することになりました。

【算定実証】

〔対象範囲〕 原材料調達段階から廃棄・リサイクル段階まで。
製品の販売時に一体不可分なものを含む。

〔実証時期〕 2024年12月～2025年2月



対象製品

■日清製粉ウェルナの製品ライフサイクルにおける環境影響算定について

日清製粉グループでは、環境課題中長期目標を掲げて、環境への対応に取り組んでいます。当社は、その環境負荷を客観的に評価・判断できるように、昨年、製品ライフサイクルにおける環境影響の算定手法「製品ライフサイクルアセスメント（以下、製品LCA）」を国内食品メーカーに先んじて導入しました。製品LCAを活用し、調理時間が短い「マ・マー 早ゆでスパゲティ FineFast」の環境への影響を見える化し、消費者へ情報発信を行うことで、消費者と共に環境負荷低減に取り組むことを目指しています。

当社は今回の農林水産省の取組みに参画することで、官民一体となって、さらに持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上

この件に関する報道関係者のお問い合わせ先
株式会社日清製粉グループ本社 総務本部広報部 担当：神田・清水
電話：03-5282-6650（お問い合わせフォームは[こちら](#)）